

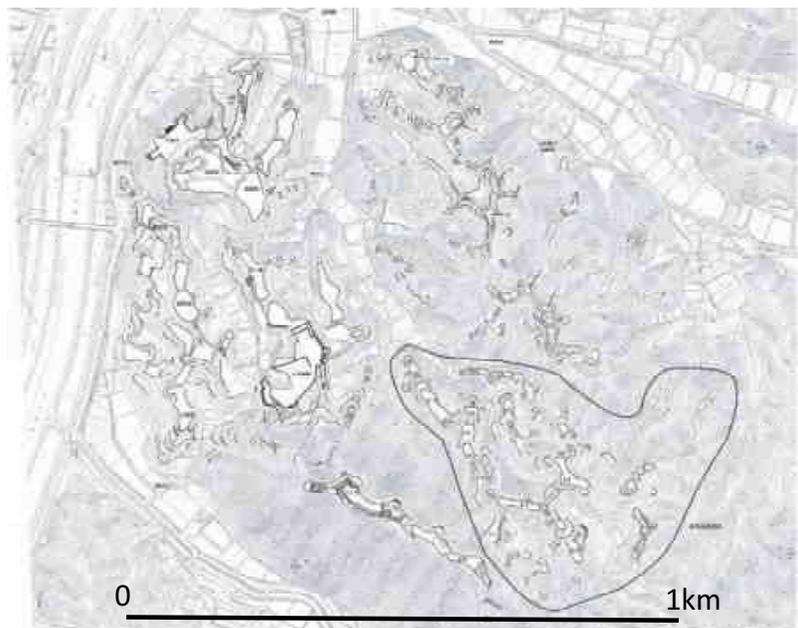
# 島根県普源田砦跡の発掘調査から

島根県埋蔵文化財調査センター  
角田徳幸

写真提供: 島根県埋蔵文化財調査センター



## 富田城跡



## 富田城跡 山中御殿、三ノ丸



# 七尾城と三宅御土居

南北朝時代

- 延元元(1336)年 三隅氏方が「益田城」(七尾城)を攻める
- 応安年間(1368~1375)三宅御土居、建設か
- 南北朝末 大内氏から益田荘地頭職を益田氏に返還する引き換えに 要害の破却が命じられる →七尾城も破壊された可能性が高い

室町~戦国時代

- 七尾城、中国製の青磁・白磁・青花、朝鮮陶磁、古瀬戸、備前などが出土、徐々に城構えが整備されたと考えられる
- 天文20(1551)年、大内氏滅亡 益田藤兼は三宅御土居から七尾城へ拠点を移す

戦国~安土桃山時代

- 御殿、庭園を備えた会所、瓦葺きの門等の整備
- 天正11(1582)年 元祥が下城し、三宅御土居跡を再び拠点とする
- 天正7(1579)年 藤兼が七尾城の「滝尾之南大手之曲輪」に隠居する

江戸時代

- 関ヶ原の戦い後、廃城
- 大手門を医光寺へ移築するという



三宅御土居の想像図 (香川元太郎氏作成 益田市教育委員会提供)



七尾城の想像図 (香川元太郎氏作成 益田市教育委員会提供)

## 七尾城跡 伝大手門

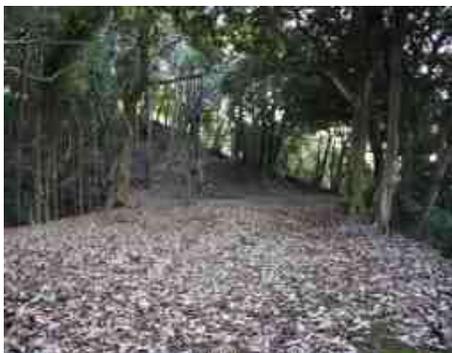


写真提供: 益田市教育委員会

医光寺総門 柱間: 約4.5m、高さ(冠木頂部まで): 約4.5m

## 曲輪（厩の段）

- ▶ 急傾斜に加工した法面に守られた削平地



写真提供：益田市教育委員会

## 土塁（千畳敷）

- ▶ 土を突き固めたり削り残して築かれた土手。曲輪の端に築き防御性を高める



## 畝状空堀群

- ▶ 斜面や平坦面に縦堀や空堀を連続して並べた防御施設



写真提供：益田市教育委員会



想像図作成：香川元太郎氏  
画像提供：益田市教育委員会

## 堀切（本丸南側）

- ▶ 尾根筋からの侵入を防ぐために掘られた堀

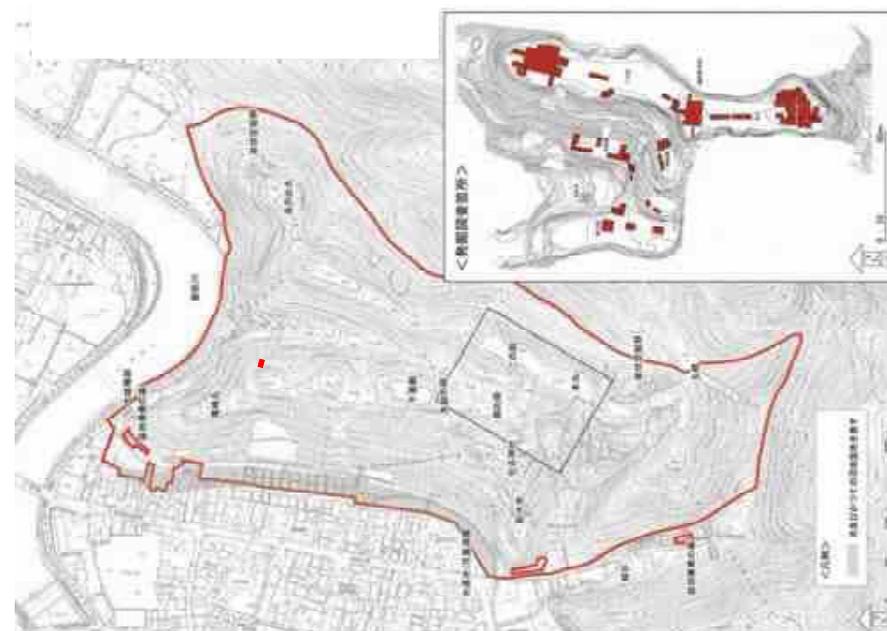


写真提供：益田市教育委員会

## 石積井戸跡

通称：馬釣井

- ▶ ・直径 約1.2m
- ▶ ・厩の段の近くに位置



七尾城跡の発掘調査地点（益田市教育委員会提供）

## 二の段西側 帯曲輪



写真提供: 益田市教育委員会

- ・長辺21.7m×短辺5.0mの礎石建物跡
- ・青磁香炉・盤、青花壺蓋などの威信財的な器種や瑠璃釉小杯など希少な遺物も出土

⇒ 城への進入路を側面から見下ろす位置にあり、居住や貯蔵以外の特別な機能を兼ね備えた建物であったと推定される

## 二の段入口の 調査



写真提供: 益田市教育委員会

- ・曲輪の端に沿って割石が敷き詰められる  
⇒築地塀の基礎
- ・入口部に約2m間隔の集石  
⇒門の礎石の根石か

## 二の段北端の調査



- ・2棟の礎石建物が東西に並ぶ
- ・砂利の化粧敷き区画・不整形の土坑  
⇒小規模な庭園

写真提供: 益田市教育委員会

## 本丸の調査



写真提供: 益田市教育委員会

画像提供: 益田市教育委員会

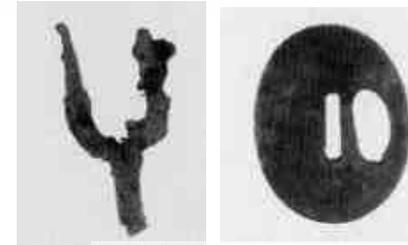
## 本丸の調査



写真提供: 益田市教育委員会

- ・ 本丸の最深部に位置する
- ・ 8間×3~4間の礎石建物に別棟の建物が附属  
⇒ 領主が居住する建物か

## 七尾城跡発掘調査のまとめ



写真提供: 益田市教育委員会

中国陶磁、鏑矢(本丸)、鏢(二の段)



写真・画像提供: 益田市教育委員会

## 高城跡(浜田市三隅町三隅)

鎌倉時代

- ・ 三隅氏により築城と伝わる

南北朝期

- ・ 石見における南朝方の拠点に
- ・ 北朝方上野頼兼・高師泰による高城攻撃

戦国時代

- ・ 三隅氏は出雲尼子氏に属し、益田氏と対立
- ・ 大永5(1525)年 大内義興に攻められ落城する
- ・ 元亀元(1570)年 毛利氏と敵対し、三隅氏は滅ぼされる



標高約360m  
比高350m程度

高城跡の縄張り図

画像提供: 島根県埋蔵文化財調査センター



写真提供：島根県埋蔵文化財調査センター

高城跡

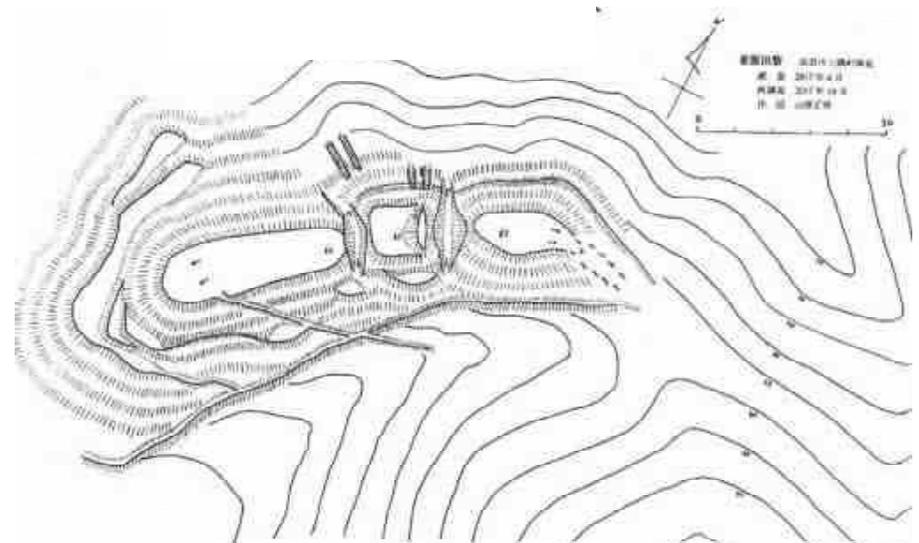
## 普源田砦跡(浜田市三隅町岡見)



## 発掘調査前の普源田砦跡



写真提供：島根県埋蔵文化財調査センター



画像提供：島根県埋蔵文化財調査センター

普源田砦跡の縄張り図

## 発掘調査後の普源田砦跡



写真提供: 島根県埋蔵文化財調査センター

## 発掘調査後の普源田砦跡



画像提供: 島根県埋蔵文化財調査センター

## 郭1の調査 建物1(半地下式倉倉庫)



写真提供: 島根県埋蔵文化財調査センター

## 郭1の調査 建物2(櫓跡)



写真提供: 島根県埋蔵文化財調査センター

## 郭1の調査 建物5



## 郭1の調査 建物5



## 郭1の調査 建物6



## 郭1の調査 建物6・7



## 郭2の調査



## 郭2の調査 溝2、土塁



## 郭2の調査 溝1



## 堀切1



堀切1



写真提供: 島根県埋蔵文化財調査センター

豎堀5



写真提供: 島根県埋蔵文化財調査センター

堀切2



写真提供: 島根県埋蔵文化財調査センター

豎堀3・4



写真提供: 島根県埋蔵文化財調査センター

## 郭3の調査



写真提供：島根県埋蔵文化財調査センター

## 静間城跡(大田市静間町)



写真提供：島根県埋蔵文化財調査センター

## 静間城跡の遺構配置図



- ・SB04が主殿か、SB02、SB03が客殿の可能性
- ・存続期間は15世紀後葉から16世紀前葉
- ・火災を契機に廃城か

画像提供：島根県埋蔵文化財調査センター

## 主郭



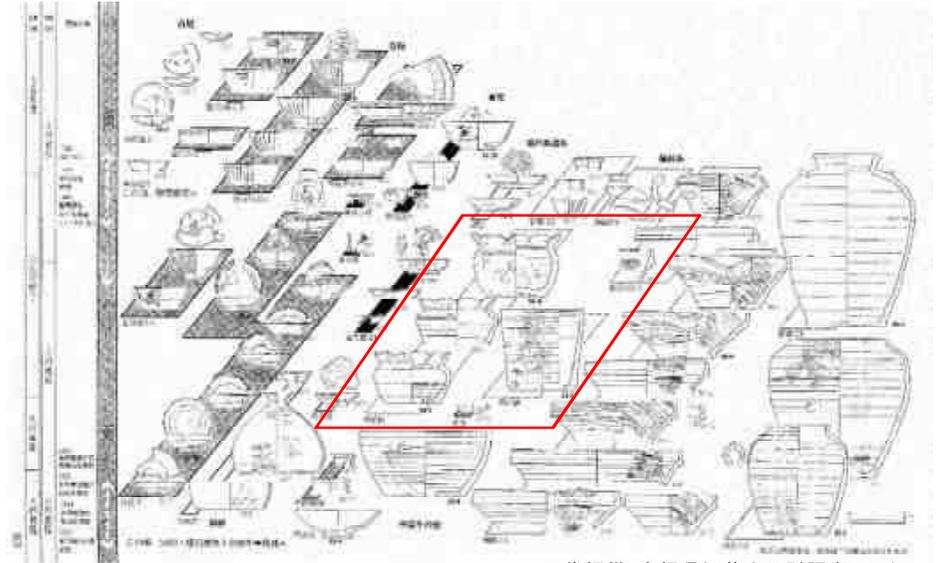
写真提供：島根県埋蔵文化財調査センター

## 静間城跡復元図



画像提供：島根県埋蔵文化財調査センター

## 静間城跡出土の陶磁器



画像提供：島根県埋蔵文化財調査センター

・備前系輪花鉢、筒形鉢 茶会に取り入れられた陶器の可能性

## 普源田砦跡発掘調査の成果

- 遺物は、16世紀前半の中国陶磁が多く、朝鮮・備前・瓦質土器などが出土。茶壺・茶臼・風炉・硯もあり。
- 県内で山城跡を全体的に発掘調査した例はほとんどなく、とくに小規模な城郭は不明な点が多い。
- 今回の発掘調査では、小規模城郭での居住や、防御施設の規模や配置などが明らかになった。

石見地域の小規模城郭の認識を改める発見となった。